



新年明けましておめでとうございます。いよいよ令和6年が始まりました。子どもさんを始め、おうちの方々もよい年を迎えられたと思います。今年も園へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。  
 冬到来です。登園時間頃、霜で丘が真っ白になっていたり池に氷が張っていたりするようになりました。「寒いよ～」と首をすくめていた子ども達もその様子には目を輝かせ、触って冷たさや感触、きれいさを感じています。「寒い」より「好奇心」の方が勝つんですね。  
 今年度も残り3ヶ月弱。学年締め新时期です。今年1年間の成長と次の学年に向けての課題を園と家庭と一緒に確認して、新しい年度につなげたいと思います。おうちの方とたくさん連絡を取り合いたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



もちつき

日本の伝統的な行事であるもちつき。しばらく出来ませんでした。やっとできました！本格的にせいろでお米を蒸し、蒸し上がったご飯をちょっとお味見。「いい匂い！」「おいし～」嗅覚と味覚を感じていました。5歳児は杵がうまくお餅にあらず苦戦していましたが、楽しい経験となりました。小さいクラスの友達に応援してもらってうれしそうでした。

おちいっばい！

晩秋になり落ち葉がたくさん！投げたり集めたりその中で転がったりして、全身で落ち葉を楽しみました。「バーベキューよ」「あちだね」と会話も弾んでいます！



おとなりの畑

3歳児の保育室の窓から営農の畑が見えます。大きな機械が使われることがあったり、いろいろな野菜が代わる植えられていたりするので、興味津々で眺めています。この日はキャベツの収穫。荷台に乗った人へ上手に投げ渡しているところを叩いて見ていると「あげるよ！」と気前よく3玉いただきました。子ども達は大喜び。一人一人匂いを嗅いだり重さを確かめたりして、給食のスープにされていました。

おもちつきごっこ練習

4歳児達は来年の練習にと杵とバケツでやってみました。「杵って重たい！」「大きい組さんすごいね！」「来年は私達がつくからね！」と張り切っていました。友達が臼で臼を叩く時にも大声援！小さいクラスでは先生が作った杵と臼で臼を叩く練習をしました。お餅は綿。「『おいしくなれ』って言いながら丸めるんだよ」と知らせると真似て小さな手でまるまる。食べるまねも上手にできますよ。



もちつき・おもち

国や教育委員会から「お餅は喉に詰まらせて窒息の危険があるため、園で食べるのはよくない」と言われています。でも、日本伝統の杵・臼でつくお餅つきは園行事としてやりたい！でも食べられないのは残念すぎる...と思い、職員みんなであれやこれや考えました。出たアイデアが「似せ餅」。餅米と普通のお米を1:1で炊き、少しついてお餅のように丸めました（おはぎの様な食感です）これにきなこ甘醤油をお好みで付けて食べました。  
 子ども達は「おいし～」と大喜び。何個もおかわりをしていました。本当のお餅がいいけど、これはこれでおいしかったですよ。本物はぜひご家庭で食べさせてあげてくださいね。

おとしだま

「あけましておめでとうございます」のあいさつが上手にできたので、ミカンのお年玉をもらいました。先生ももらいました。獅子舞が登場しましたが泣いたので、どの学年も上手に言ってもらったみかんはまるまる1個。「自分で剥くんだ」と言って最後までがんばって剥きました。自分で剥いたみかんはとってもおいしかったです。



あいさつ

あいさつは人と仲良くなるための1番身近な方法ということを機会があるごとに話してきました。3歳以上児は始業式に「帰るときの『さよなら』のあいさつもしてくれると先生はうれしいな」と言うことを伝えると、元気な「さようなら」の声が増えました。（おうちの方も意識して行ったださる方が増えていすね）  
 とってもうれしいです！

